夏の日

高橋さくら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
夏の日

【Nコード】
N7221E

【作者名】
高橋さくら

【あらすじ】
少女の日常の1コマを描いています。いわゆる「オチ」はありません。夏の空気感を感じていただければ…と思います。

波子は近くで行われている建築工事の音で目を覚ました。
目覚めが悪い上に汗ばんだパジャマまでが不快感を誘う。
朝からやけに蒸し暑かった。工事の音はまだやまない。

ダダダダダ……　ダダダダダ……

下に降りると母親の姿はなかった。昨夜何か言ってたっけ。
そうだ、友達に会うとかなんとか……。

おしゃべり好きの母親がさらに輪をかけたおしゃべり好きの友達と
おしゃべりに夢中になっている様が波子の頭に浮かぶ。

波子はテレビをつけ、牛乳をコップに注いだ。
ニュースキャスターが今日も暑くなるでしょう、と告げた。
ぼんやりとテレビを見ていると毎週見ているドラマの予告が流れる。
そこで波子は初めて今日が木曜日であることを認識した。そして思
う。

あれから一週間たったんだ……

簡単に朝食を済ませると波子は自分の部屋に戻りベットに寝転んだ。
１１時１５分。何もする気がおこらない。

波子はしばらくファッション雑誌をぱらぱらめくっていた。
いつしか工事の音がやんでいる。
窓から生あたたかい風が入ってくる。

雑誌を見るのに飽きた波子は寝転んだまま窓の外を眺めた。
向かいの家の主婦が布団を干している。
ベランダに出ている主婦に気がついたその家の飼い犬が尾っぽを振りながら吠える。
いささか耳障りな鳴き声に波子はうるさい、とつぶやく。

風鈴の音が遠くから聞こえてくる。

ちりん……ちりん……ちりん……

波子を目を閉じた。

ちりりん……

強い日ざし。形のはっきりした建物。
遠くまではっきりうつし出される景色。
青。空の、海の。
波子は夏を想う。

眠ってしまったらしい。眠りの中で波子の中にゆっくり夏が降りてくる。
夏の中で波子は笑っている。

携帯の音で波子は目覚めた。
目が覚めた瞬間どうして笑っていたのだろうと思った。
そばに誰かいて、それで……

波子は我に帰ってすばやく携帯にでる。

……「こんにちは美里です」

「ああ、田中さん」

波子は無意識に時計を見た。１２時１０分前。

……「何かしてた？」

「ううん、何も」

……「………」

美里はしばらく黙っていた。

何か言おうとしている様子は受話器越しから伝わってくる。

不思議と波子はその沈黙を心地よく思った。

……「また会ってくれる？この前言ってた本も貸したいし」

「うん、いいよ」

……「それじゃあ…」

美里が電話を切ろうとしたので波子は慌てて遮った。

「暑いね、今日。夏が突然きちゃったみたいじゃない？」

……「うん、暑いね」

「………」

……「………」

沈黙がしばらく続いた。
波子は言葉を紡ぎだそうとしたが頭がぼんやりしているせいか何も浮かんではこなかった。

「え？」

美里が何か言ったのを波子は聞きのがした。

……「波子っていい名前ね」

「父がつけたの。父は海が好きで海に因んだ名前がいいって…」

私は八月に生まれた。よく晴れた夏の昼下がりに。生後何か月かで私は初めて海を見た。
父に抱かれた私は笑っていたらしい。波子も海が好きみたいだ。
父は嬉しそうに笑ったという。

「今ヒマ？会わない？」

……「もう会ってくれないと思った」

「なんで？」

……「嫌われてるのかなって」

美里は小さな声で言った。

「そんなことないよ」

波子は笑って言った。

波子は白いワンピースに着替える。
ベットの上に開きっぱなしになっていた雑誌が窓から入ってきた強い風にめくれる。
向かいの犬がまた鳴いた。
犬が鳴きやむと部屋には静寂の空気が横たわった。

家を出ると、波子はふんふんとハミングしながら歩き出した。
白いワンピースの裾がさらさら揺れる。
波は汗ばんだ額を軽く拭った。

私は夢を見た。夏の中で私は誰かとじゃれあって笑っていた。
あれはきっと美里だったと思う。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

　ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n7221e/

夏の日

2010年10月20日17時36分発行